

## 基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 2020 年 8 月 24 日

設置・運営主体	公益財団法人 鉄道弘済会		
設置主体			
経営主体	同上		
事業所名 (施設名)	与野本町駅前保育所 (愛称:おひさま保育園)	種別	保育所
所在地	〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷9-5-18		
電話	048-840-1151		
FAX	048-853-0828		
Email	yoonohisama-ho@kousaikai.or.jp、 katsuya-yamashita@kousaikai.or.jp		
URL	<a href="http://www.kousaikai.or.jp/sukovaka/ono/">http://www.kousaikai.or.jp/sukovaka/ono/</a>		
施設長氏名	園長 山下 勝哉		
調査対応担当者	山下 勝哉 (所属、職名: 園長)		
利用定員	72名	開設年	平成 17 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>【保育理念】 一人ひとりの子どもを大切に、保護者や地域社会から信頼され、選ばれる保育所を目指します</p> <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの最善の利益を考え個性や人権を尊重した保育を行います</li> <li>・お年寄りや友達と関わるなかで、動植物を大切に、人を思いやる心を育みます</li> <li>・食育を通して心身ともに健やかな子どもを育成していきます</li> <li>・地域社会との交流をはかり、安心して子育てができる保育所を目指します</li> </ul>			
開所時間 (通所施設のみ)	平日(月曜日～金曜日)	7:00～20:00	
	土曜日	7:00～19:00	

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	11	1		4+1(看護師)
1歳児	12	14	1		4
2歳児	12	14	1		3
3歳児	14	14	2	22	5
4歳児	14	15			
5歳児	14	15			
計	72	83	5	—	—

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数	32人			
うち	保育士	25人	保健師・看護師	2人
	栄養士・調理員	3人	その他（園長、事務員）	2人
非常勤職員数	4人	（常勤換算	1.6人）	
うち	保育士	3人	（常勤換算	1.3人）
	保健師・看護師	0人	（常勤換算	0人）
	栄養士・調理員	0人	（常勤換算	0人）
	その他（用務員）	1人	（常勤換算	0.3人）

(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	0人	非常勤：	2人
	退職	常勤：	1人	非常勤：	0人

(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢 37.5 歳（ 37.8 歳）

(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数 7.5 年（ 7.9 年）

(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。

### 【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	有	—
延長保育	有	
休日保育	無	
障害児保育	有	—
一時保育	有	
地域子育て支援センター	有	
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	有	
アレルギー等対応給食	有	—
その他(事業名: )	無	

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

### 【ボランティア等の受け入れに関する事項】

- 2019年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

37人

- ボランティアの業務

・5歳児学習会  
・通常保育  
・納涼祭(盆踊り、太鼓)  
・地域交流事業(埼玉県立与野高校、金子ぶどう園、まいやま米店等)

### 【実習生の受け入れ】

- 2019年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 6人

### 【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	741.44 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	10.3 m <sup>2</sup> (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	399.2 m <sup>2</sup>	
	児童1人あたり	5.5 m <sup>2</sup> (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)	15年	平成 17年

### 【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

法人本部主導で3年に一度「利用者アンケート」を実施、利用者さまのご意見やご要望に対しての改善内容を明示し、玄関に掲示して周知を図る。その他、ICT保護者さまとのコミュニケーションツール「コドモン」でのご意見やご要望にも真摯に受け止め対応する。また、普段の登園降園時の何気ない会話の中での利用者のご意見も誠実に対応する。

## 【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

### (1) 「保育の質」の向上

・子どもが夢中になって遊んでいる様子や、ちょっとした成長が感じられる場面等をドキュメンテーション(今日の出来事)として掲示し保護者の皆さまにお伝えしていくとともに、保育者が自らの保育を振り返り、保育者間で共有しながら保育の質を向上できるよう積極的に取り組む 等。

### (2) 保護者さまの保育参加と子育て支援策の充実

・保育参加は、埼玉県親支援事業の一つとして位置づけられており、保護者さまに保育 に参加していただき、我が子だけでなく広く同年齢の子どもたちの成長に気付いたり、実際 の保育の様子を見ることで、保護者さまの仕事への理解を深めていただく等。

### (3) 特色ある保育の実施

・音やリズムに合わせて体を動かし自由に表現をすることで感性を磨く音楽教育法「リトミック」を引き続き取り入れた保育を実践して参ります。子ども達の表現力や想像力、運動能力が養っていく 等。

### (4) 食育活動の充実

・栄養士を含めた保育者が一体となって、子どもに寄り添いながら「見る」、「聴く」、「触る」、「嗅ぐ」、「味わう」、「感じる」の六感を使う体験を通し、食への理解や思考の促進、更に追及してみたい欲求が高まっていく活動を重ね、食べることの楽しさや豊かさ、大切であること等の食育活動に取り組む 等。

### (5) 地域との交流と連携の強化

・助け合い支えあう地域づくりができるよう、世代を超えた交流を引き続き推進していくとともに、「おひさま保育園がある街っていいね」と地域の皆さまから思っていただけよう地域との交流と連携を強化していく。デイサービスセンター「悠楽里」、「金子ぶどう園」への訪問交流のほか、自治会、地域の商業施設、企業、団体、学校等との交流や連携を深めていく 等。

### (6) 安全で安心できる保育の追及

・何よりもまず子どもの生命を守ること、日常生活のあらゆる状況で起こりうる事故を想定し、未然に防ぐように細心の注意を払い運営して参ります。また万一、事故や災害が発生した場合においては、迅速、適切な処置をすることで被害を最小限に食い止めるよう努める 等。

### (7) 環境保全活動の積極的な取り組み

・もりもりキッチンから出た生ごみを、地域交流活動の際に取引先等から頂く落ち葉や米ぬか等を混ぜ合わせ堆肥化し、生ごみの減量に取り組む 等。

・ 受審回数（前回の受審時期）

    3     回      (     2015     年度)